



(3) 令和3年1月15日

## コロナ禍での 防災講座開催

その後、バージョンアップを考え、平成30年8月～平成31年1月の間に5回シリーズの講座を開催しました。各回にテーマを変え、歴史的な地域の特性、気象の変化、人間の性質・行動パターン等を学び、連絡速度を上げるための避難連絡網を考え、住民同士が声をかけ合い、命を守る地域となるため、具体的な計画を立て、「平野地区防災計画第1弾」が作成されました。

町会長より、もう少し内容

コロナ禍での避難所（市民センター）運営方針、各部屋に何名収容可能か、ソーシャル・ディスタンスを考えた実測結果表などを発表し、そして「平野地区防災計画 第1弾」の更新・差し替え版が渡され終了しました。

1950(昭和25)年6月  
朝鮮戦争が勃発しその特需で  
八幡にも活気が出て来た。昭  
和28年6月には大水害に見舞  
われたが1955(昭和30)年  
より始まつた高度経済成長に  
八幡製鐵所を始め市内の企業

幾多の荒波を乗り越え、新しい歴史を刻むべく、明るい未来へ向かい歩み始めた。お話を今回で終了です。拙い文を最後までお読みいただきありがとうございました。

# 生涯にわたる健康支援と地域医療、 福祉を提供いたします

 医療法人ふらて会  
社会福祉法人ふらて福祉会  
理事長 西野 憲史

を追加した講座を開催してほしいという要望に応え、令和2年度は3回シリーズ「コロナ禍での防災講座」を10月14日・28日・11月11日に開催いたしました。

敗戦の街並みに流れる「リンゴの唄」に人々は明るい未来を夢見ていた。八幡大空襲で壊滅的な被害を受けた八幡の街は未来に向けて力強く歩き出した。昭和20年10月「戦災復興都市計画都市」に指定された八幡市は、守田市長による全国でも特筆される復興計画をたてた。その基本は市民の「心の復興」を最重点に置き、数々の施策を実行した。八幡駅の移転を始め、多くの犠牲者を出した小伊藤山を切り崩しその跡に教育文化の活動拠点として、日本初の都市型公民館として中央公民館を建設、ロー・タリーに平和記念像等々、八幡駅から皿倉山を

た。しかしその反面負の遺産として、公害の街として有名になつた。無数の煙突からでる煙は「この天の虹」とも言われたが亜硫酸ガス、ばい煙より喘息を生み、工場排水による水質汚濁は洞海湾をヘドロが堆積し魚の住めない「死の海」と変えた。その後市民、行政、企業一体となつた努力により青空は戻り、洞海湾は浄化され魚の住める海となつた  
1990（平成2）年東田の製鉄遊休地に開園した「スティースワールド」は地域の活性化を期待されていたが、2018（平成30）年残念ながら閉園となつた。

八 やはたのお話シリーズ 4

(2) 令和3年1月15日

フットバスとは、イギリス発祥で歩くことを楽しむための道のことで、地元の人も知らなかつた風情ある小径や通つたことのないあぜ道をさながら探検隊のように歩き楽しむことが目的で、ふる里を再発見することができます。

楓田地区でもフットバスを始めようと楓田市民センター館長の提唱にみんなが賛同して実行することになりました。

第1回は10月24日に開催し老若男女27名の参加がありました。北九州ウォーキング協会の方に歩き方の指導を仰ぎ、密を避けながら市民センターを出発し、あおぞら通り、日切地蔵尊、財満古墳、牧水の丘、天疫神社を巡つて約1時間半の散歩は終了。慈光寺では発掘された土器を拝見させていただき地元に古くから住んでいる人も他から転入して

加。八幡東区役所の保健師から「冬の過ごし方」の講和後、市民センターを出発。楓田川沿いを歩き茶屋町橋梁、高見八王寺古墳の展望台へ、ゲームを楽しんだ後に高見中学を横目に高見小学校への下り階段を通りて荒生田神社。神社の歴史を学び新たな発見ができた楽しい散歩でした。

第3回目も計画しており、見知らぬ小径を散歩することでふる里を再発見できたり、歩くことで健康にも良く、今後もフットバスを継続していくと実行委員一同頑張っています。

新型コロナウイルスの感染拡大は自主組織である自治会、町内会活動にも大きな影響を及ぼしています。

しかし、このコロナ禍でも、地域住民の安全・安心を目的としている自治会活動を止めることはできません。

できることはできるように対応策を考え、美しいまちを将来の世代に引き継ぐために、初めての取り組みである、オール高見で「環境美化活動」を実施しました。



参加団体等は、高見中央公園愛護会、高見老人クラブ、わくわくキッズタイム（高見小学生）、グランドゴルフ団体2チームで、中央公園並びに板櫃川河川の清掃活動を実施。

特に、高見小学校の子供たち40名が参加し、自分たちの町は自分たちの手できれいにするといった心を育み、子どもたちの環境美化意識を高める目的の子ども環境美化活動と、参加団体にそれぞれ清掃範囲の担当区域を設定し楽しく実施しました。

## ふる里再発見 フットバスで

きた人も新たに発見ができる  
楽しい散歩でした。

福岡高見で

10月17日(土)午前10時、

概田第一自治区会と概田第五自治区会合同で昨年の10月からフットバス（小径さんぽ）を始めました。

フットパスとは、イギリスの道のことで、地元の人も知発祥で歩くことを楽しむため

よかつた。次回も是非」とのアンケートの結果をもらい、第2回目は11月21日で29名参加。八幡東区役所の保健師から「冬の過ごし方」の講和後、市民センターを出発。楢田川沿いを歩き茶屋町橋梁、高見

# 環境言化活動実施

